旅立つ君にエールを送る

『ディレクション（direction）』

3学年主任　武田　充広

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。紆余曲折を経て本日無事に卒業式を迎えることができたこと、大変嬉しく思います。

さて、これから様々な世界へと旅立つ皆さんへ贈る表題を〝方向〟という意味の『ディレクション』としました。意味はここでは人生の方向性（the course of one's life）とでも言えるかと思います。更に言えば真直ぐな方向性です。今、心に描いた将来像はどのようなものでしょうか？

私は体育教師になるべく大学へ進学し、教育の道に進みましたが、そこでは多くの困難や理不尽な事柄に遭遇してきました。憤りを感じ、現状を嘆いたことも少なくありません。しかし、〝方向性を変えたり・誤ったりした〟ことは無かったと思っています。高校卒業時に描いた淡い理想通りではありませんでしたし、かなり遠回りな道でしたが、途中で〝方向変換〟しなかったことが自分の誇りであり、苦しいときの心の支えでもありました。自分の一番やりたい方向に進んだからこそ、そこに広がる人間関係や生きていく力が育まれたのだと思います。

卒業生の皆さんは自分の進む方向が見つかったとき、決して方向変換することなく、真直ぐ突き進んでほしいと思います。方向を変えたり、逆方向へ進んだりすることで自分を曲げてはいけません。自分の信念を曲げて充実感や達成感は決して得ることはできないものです。どうか、自分らしい道をしっかり歩んでほしいと切に願います。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりご祝辞申し上げます。三年間、本校の教育活動に対しましての多大なるご理解・ご協力に感謝申し上げます。本校は今年、九十周年を迎えるにあたり、これまで以上に新しい取り組みにチャレンジして参ります。百周年、そしてそれ以降も発展していけるよう、卒業生の成長とともに歩み続けたいと思っております。

関西金光学園関西福祉大学金光藤蔭高等学校に携わった生徒ならびに保護者の皆様、そしてすべてのご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、卒業に際してのご挨拶とさせていただきます。

『卒業おめでとう』

3年1組担任　香川　経子

卒業、おめでとうございます。今日のこの日を迎えられたのは、三年前の入学式から皆さんがすべきことをやりとげた結果です。ただし、自分の力だけでそれが出来たわけでは決してありません。周囲の協力がなければ成し遂げることはできなかったでしょう。だからこそ、周りの人々への感謝と気配りを大切にしてください。

ところで、皆さんには高校での三年間を振り返って、自信と誇りを持って説明できることは何かありますか。早かったと感じる人は濃密な時間を過ごしたから、長かったと感じる人はただ普通に過ごしていたからなどとよく言われます。しかし、長かったと感じるからといって、その三年間に意味がなかったというわけではありません。きっとまだこの卒業の本当の意味を感得していないからだと思われます。これは私自身の体験からですが、これから先たくさんのことを経験していくなかで、ゆっくり思い出されることでしょう。この高校生活がどれほど意味があったかを……。

思うに、きっと人生はその繰り返しです。これからの人生ですぐに意味が見出せなくても、周囲とのかかわりを大切に過ごすことで、気持ちは後から付いてくるのかもしれません。だからこそ「一期一会」、様々な機会を大切に歩んでください。

◆◆◆◆◆

『終わりは次の始まり』

3年2組担任　金光　信治

御卒業おめでとうございます。高校生活を振り返ってみて、印象に残っていることは何でしょうか？

入学時の頃を思い出してみて下さい。高校生活への期待や不安などが入り混じっていたと思います。では、今の自分はどうでしょうか？三年前とは違い、自分が大きく成長したと思えることがそれぞれあるはずです。それらを今後の人生に活かしていって下さい。

これから皆さんの道はそれぞれ異なりますが、金光藤蔭を卒業することに自信と誇りを持って行動してほしいと思います。困難な場面に遭遇した際には、藤蔭で学んだ原点を見失うことなく、一歩ずつ着実に歩んでいけば、道は開くはずです。

卒業は終わりではありません。次への始まりなのです。新しいことに挑戦し、自分の可能性を信じて前へ進んでいって下さい！

『卒業おめでとう』

3年3組担任　井上　真理

卒業生の皆さん、ならびに保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。関西福祉大学金光藤蔭高等学校での高校生活はどうでしたか？今から振り返ると、あっという間に三年間が過ぎたのではないでしょうか。

これから皆さんは高校を卒業し、それぞれの道を歩んでいくと思います。その中でも今までに味わった事が無い辛い時やしんどい時があると思います。心が折れそうになる時もあるかもしれませんが、そこから逃げずにじっくりと頑張ってみてください。失敗もするかもしれませんが、「失敗は成功の母」というようにそこから学ぶことが沢山あります。高校卒業が人生のゴールではありません。ここからがスタートです。ここで過ごした三年間の経験を土台として、さらに大きな人間に成長してくれることを祈っております。

私は途中からこの学年に入らせて頂きました。皆さんと出会えて、毎日一緒に過ごす事が出来て本当に嬉しかったです。素敵な時間をありがとうございました。健康には気を付けて、感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

『ありがとうとごめんなさい』

3年4組担任　林　耕平

卒業おめでとうございます。心から嬉しく思います。私は二年生からこの学年を受けもちましたが、毎日がとても充実していて、とても楽しい二年間でした。

卒業生の皆さんに私から伝えたいことがあります。それは「ありがとうとごめんなさい」この二つの言葉です。簡単な言葉のように感じますが、この二つの言葉が人生において最も大切なのではないかと私は思っています。人は一人では生きていけません。いろいろな人に支えられながら生きています。嬉しい時や、助けられた時に「ありがとう」を、失敗をした時や、人を傷つけてしまった時は「ごめんなさい」をきちんと言う事で素晴らしい人生を歩むことができます。これから長い人生が始まります。つまずくこともあるかと思いますが、そんな時はこの二つの言葉を思い出してくれればと思います。皆さんに出会えた事に心から「ありがとう」の言葉を贈らせて頂きます。

『まだまだこれから』

3年5組担任　佐々木　嘉弘

「本当にありがとう」

担任として、授業担当として、あなた達から実に多くのことを学び、また楽しく過ごせたことに感謝しています。

人として　教師として
へこむたび
生徒の声に　意気吹き返す

自分は教師に向いているのだろうか、こんなんでいいのだろうか、と戸惑うことは何年教師をやっていても無くなりません。しかし、いつもあなた達の存在が私を勇気づけてくれたのです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この春からは進学する人、就職する人、自分探しをする人、それぞれの人生を歩んでいくあなた達に、お礼の意味を込めた担任からの思いを受け取ってください。

『人とつるんで群れにまぎれることで、我を見失ってはいけない。いつどんな場合でも、自分で確かめ、自分で考え、自分で決定して行動しよう。人はみな平等。人が人をはずかしめることは、だれにも許されてはいない。むろん、人が人を恐れる必要もない。他人の自由を尊ぶには、自分が真に自由でないといけないが、自由の意味をはきちがえてはいけない。決して後で悔やまない人間になって欲しい。』

本当に卒業おめでとう。次のステージへ旅立つあなた達へ心よりエールを送ります。

『苦しいときこそ　登り坂』
まだまだこれから

◆◆◆◆◆

『出会いに感謝』

3年6組担任　奥田　陽一

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。振り返ればこの三年間は短かったのではないでしょうか。

みなさんはこの学校のことは好きですか？もしくは好きになりましたか？最初は慣れなかった人もいたかもしれません。しかし時が過ぎ、卒業を迎えた今、この学校に愛着が湧いているのではないでしょうか。私自身も金光藤蔭の出身です。様々な縁があってこの学校と出会い、そして教員として勤めることができました。この学校が好きで戻ってきたのです。もし私の人生で何かひとつでも歯車が違えば、君たちと出会うことはなかったでしょう。君たちと出会えた縁に感謝しています。

これから先の人生、多くの選択を自分自身でしていかなくてはなりません。自分が決めた答えに自信と誇りを持って突き進んでください。

二年生からの担任でしたが、受け入れてくれてありがとう。

◆◆◆◆◆

『自分なりの「解」を』

3年7組担任　藤村　崇

卒業生のみなさん、本日はおめでとうございます。

今、あなたたちに贈る言葉として、数学者の岡潔さんの言葉で「必ず発見の前に一度行き詰まるのです。行き詰まるから発見するのです。」という言葉を贈ります。私の人生においても同じで、学生時代に部活動をしている時や進学先を決める時、教員として過ごしている時も、何かをする上ですんなりと上手くいったことはほとんどないです。大半が、その途中で、しんどい思いや挫折を味わいました。しかし、そこであきらめず、辛抱強く食らいつくことをし、必死になって努力をした結果、その先にいい結果につながることがあったと思います。

これから、あなたたちは誰のせいでもない、自分一人の責任のある立場になります。やっと一人の大人として見られることになり、世界観も広がると思います。また、仕事をしていく上では、色々なことを任されるようになり、その1つ1つに重圧がのしかかってくると思います。そして、必ずどこかで壁にぶつかったり、思うように進まなかったりします。しかし、そこで、あきらめるのではなく、行き詰まるからこそ、見えてくるものや大切にしないといけないものが分かると思います。これからの人生、行き詰まってからが勝負です！いつもみたいにすぐにあきらめるのではなく、そこから何をなすかがこれからのあなたたちには大事なことになってくると思います。自分なりの「解」をしっかりと見つける道を進んでください。忍耐をもってことにあたること！すぐあきらめる癖をなくすこと！

それさえ心にあれば、これまで以上に自分の可能性が広がっていきます。どうか、これからの人生を精一杯、謳歌してください。

◆◆◆◆◆

『人生ここからが勝負』

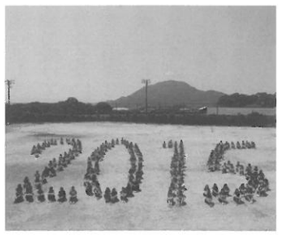
3年8組担任　吉村　浩一

三年生の皆さん卒業おめでとう。関西福祉大学金光藤蔭高等学校での三年間はどうでしたか。私は一年から持ち上がりましたが、本当にアッという間だったというのが本心です。

平成二十五年四月の入学式に始まり、学年の行事では香芝キャンパスでの体力測定、学年DAY、学校行事では遠足、体育大会、藤蔭祭、コースウィークと楽しんだ日々が懐かしく思われます。二年生の二月には北海道への修学旅行で宿泊を伴いながら普段の学校生活とは違い、学年集団でより人間関係を深めることもできました。

話は尽きることはありませんが、皆さんの人生ここからが本当のスタートです。大学、短大、専門学校へ進学する者、社会人として就職する者、いずれにしてもこの先試練は山ほどあるはずです。本校で身につけた「生きる力」を存分に発揮し、人生を歩んでください。そして、今後の皆さんの更なる飛躍を期待しています。

最後にこの日を迎えられた保護者、ご家族の皆様にも感謝と喜びの意を表し新しい門出へのご挨拶といたします。



『大人の自由』

3年1・3・5組副担任　丸目　惠三

卒業は自由の味がする。誰もが解放感を感じるものだ。しかし何をしてもよいという訳ではない。自由には義務や責任がつきまとう。逆に言うと、義務を果たし責任ある仕事をこなした後に味わえるのが自由なのかも知れない。

一社会人として、私がその自由を味わうために心がけていることが三つある。

①今やらなければならないことを、短時間でやる。

②今できることを、短時間でやる。

③やりたいことを、時間をかけてやる。

③から入りたいが、そこが心にブレーキのかけどころだ。この順番は決して変えてはいけない。若いあなたたちの目の前にはおもしろいことや楽しいことがたくさんあるだろう。しかしあなたたちもこの順番は忘れないで欲しい。そして大人の自由を満喫してほしい。

これからの人生に幸あらんことを。アディオス！